

令和4年度事業報告

I 令和4年度事業概要

3R活動推進フォーラムは、循環型社会の形成・3R推進のため、環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室のご指導のもと、国内における普及啓発事業を実施している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、3R推進全国大会は第一部を対面で開催、第二部をオンラインで開催、3回のセミナーはオンライン開催にて実施した。

また、プラスチック資源循環法が令和4年4月1日から施行されたことを踏まえ、法律の概要や情報提供、先進事例発表等を行うためのセミナーや勉強会を環境省、都道府県、会員等と連携し、業界を超えたステークホルダーと共同で循環型社会構築への取組を進めていくように努めた。

1 3R推進全国大会及び関連事業

(1) 第16回3R推進全国大会

環境省、3R活動推進フォーラムの主催による「第16回3R推進全国大会」は、10月27日(木)13時から、東京ウイメンズプラザを配信拠点として開催した。

第I部の大会式典では、循環型社会形成推進功労者、3R促進ポスターコンクール最優秀賞の表彰を行った。

第II部の記念シンポジウムでは、「ライフサイクル全般での資源循環に基づく脱炭素化の取組の推進 ～プラスチック資源循環と循環経済への移行を加速するための循環経済工程表～」をテーマに、プラスチック資源循環促進法や循環経済工程表の情報提供、循環型社会の形成に向けて3R推進の必要性、今後の3R推進方策に関する理解を深めるため講演とパネルディスカッションを行った。

開催日時：2022年10月27日(木)13:00～16:30

開催拠点：東京ウイメンズプラザ(東京都渋谷区神宮前5-53-67) YouTube 配信

開催主体：環境省・3R活動推進フォーラム

参加者：申込者329名、会場来場(関係者)者50名、計379名

(2) 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰審査等業務

循環型社会形成推進功労者を表彰する制度は、廃棄物の発生量の抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰し、その功績をたたえとともに、循環型社会の形成の推進に資することを目的に、毎年環境省が実施しているもので、令和4年度は全国で3R活動優良企業6件、3R活動推進功労団体4件、合計10件が受賞した。(このうち2件は、令和4年度は3R活動推進フォーラムからの推薦)

なお、表彰式は第16回3R推進全国大会式典の席で行われた。

(3) 3R促進ポスターコンクール

環境省と3R活動推進フォーラムでは、循環型社会の実現に向けて、毎年「3R促進ポスターコンクール」を実施している。公募は、小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生の部の4部門で行われ、令和4年度3R促進ポスターコンクールには、全国から合計5,905点の応募があった。審査の結果、各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が選定された。

なお、最優秀賞4名の表彰式は第16回3R推進全国大会式典の席で行われた。

①応募作品到着 2022年8月下旬～9月9日

②1次審査会（廃棄物・3R研究財団 8階大会議室）

2022年9月26日（月）

③2次審査会（浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス ROOM1）

2022年9月28日（水）

(4) 環境省主催地方セミナー

プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応がますます重要になっていることから、政府においては、循環型社会形成推進基本計画やプラスチック資源循環戦略等の施策が策定された。

令和4年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組（3R + Renewable）を促進するための措置を講じようとしており、また、同9月には第四次循環型社会形成推進基本計画の第2回点検結果（循環経済工程表）が策定された。

こうした状況を踏まえ、国民の皆様はじめ関係者の皆様にこれらの周知徹底を図り、各主体が具体的に行動を起こしていただくための情報を提供するため、環境省主催の3R推進地方セミナーを開催した。

第1回プラスチック資源循環法及び循環経済工程表について（富山）

開催日時：2022年11月25日（金） 13:00～16:00

開催拠点：オンライン（WebEx）

開催主体：環境省、富山県、3R活動推進フォーラム

参加者：72名

第2回プラスチック資源循環法及び循環経済工程表について（愛媛）

開催日時：2022年12月14日（水） 13:00～16:00

開催拠点：オンライン（WebEx）

開催主体：環境省、愛媛県、3R活動推進フォーラム

参加者：80名

第3回プラスチック資源循環法及び循環経済工程表について（兵庫）

開催日時：2023年1月18日（水） 13:00～16:00

開催拠点：オンライン（WebEx）

開催主体：環境省、兵庫県、3R活動推進フォーラム

参加者：119名

2 連携・協働事業

(1) 3R推進団体連絡会との共催による容器包装交流セミナー

プラスチック資源循環法が施行され、プラスチックの一括回収が始まり、3R推進団体連絡会と3R活動推進フォーラムは、3R・循環経済をテーマにNPO団体、事業者、自治体などのステークホルダーが一堂に会し、主体間の信頼と連携・協働の輪が大きく広がることを期待し、全国各地でセミナーを2年ぶりに開催した。3回開催終了後に「容器包装セミナー報告書2022」を作成し全国の自治体に配布した。

①容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会 IN 青森

開催日時：2022年8月25日（木）13：00～16：30

開催拠点：青森県観光物産会館アスパム 十和田

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：36名

②容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会 IN 奈良

開催日時：2022年11月10日（木）13：00～16：30

開催拠点：奈良県文化会館 小ホール

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：44名

③容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会 IN 鹿児島

開催日時：2023年2月2日（木）13：00～16：40

開催拠点：ライカ南国ホール（Li-Ka1920（ライカイチキューニーマル）5階）

開催主体：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

参加者：42名

(2) 持続可能環境センターとの連携

環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を共有化するとともに、活動の輪を広げるための教育・人材の育成等を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

①第15回3R・低炭素社会検定試験講習開催 運営業務（関東地区：東京会場）

開催日時：2022年10月15日（土）

3Rコース 9：30～12：30

低炭素社会コース 13：30～16：30

開催拠点：東京会場

（公財）廃棄物・3R研究財団 会議室

開催主体：3R・低炭素社会検定 検定事務センター

②第15回3R・低炭素社会検定試験開催 運営業務（関東地区：東京会場）

開催日時：2022年11月13日（日）

開催拠点：品川フロントビル会議室 定員145名

開催主体：3R・低炭素社会検定 検定事務センター

受験者：午前69名 午後68名

③広報関連

- ・合格者向けの記事

「ニュースレターRでつながる」 3R・低炭素社会検定 ニュースレター編集委員会

- ・HP記事の寄稿

Vol.156「2022年4月から施行のプラスチック新法とは」

(3) 公益財団法人日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局との連携

時代を担う子どもたちのコミュニケーションの能力、課題発見、解決能力、多様性を受容できる力、新しい価値を生み出す力など「未来を創る力」を育む活動を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

①バイオマスプラスチック「アキと世界の未来(2022年3月30日発行(非売品))」

漫画の掲載協力

(3R活動推進フォーラム会員、一般社団法人有機資源協会様よりご提供)

②令和4年度3R促進ポスターコンクール募集の掲載協力

③2022年11月22日開催 YOKOHAMA RePLASTIC

フォーラム会場での共同展示を実施。

横浜市資源循環局と同じスペースで展示を行い、相互理解を深めた。

(4) リデュース・リユース・リサイクル推進協議会との連携

①第1回(令和4年度)3R・循環経済先進事例研究発表会(3R+Renewable)

世界的な人口増加や経済成長などにより資源・エネルギー・食料の需要が拡大し、同時に廃棄物量の増大、気候変動、生物多様性、環境汚染などの問題が深刻化している。

そこで、持続可能な形態で新たな試みや取組みの先駆的な事例を中心に、企業、自治体廃棄物・リサイクル関連団体等の事例・研究発表会を開催し、3R・循環経済に関する先進事例の情報発信および相互の交流の場を作り、循環型社会の一層の拡大浸透を図る。

第1回となる令和4年度は、製品設計から廃棄物処理に至る各段階において、あらゆる主体による資源循環等の取組(3R+Renewable)の第1弾としてプラスチック資源循環促進法(プラ新法)が本年4月に施行されたことを踏まえ、プラスチックの3R・循環経済をテーマとした先進事例発表会を開催した。

開催日時:2022年12月12日(月)13:00~16:30

開催拠点:オンライン(WebEx)

開催主体:リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム
クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)協力

発表者:HPより公募。

参加者:80名

②循環・3Rリレーセミナー

～脱炭素社会における資源循環(3R+Renewable)～

開催日時:2023年2月6日(月)14:00~16:45

開催拠点:オンライン(WebEx)

開催主体:リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 3R活動推進フォーラム

参加者:119名

(5) 廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会

令和4年度の廃棄物・3R研究財団及び3R活動推進フォーラム主催の年次報告会にて、3R活動推進フォーラムの活動報告と今後の方向性について報告をした。

開催日時：2022年10月14日（金）

開催拠点：KFCビル（第一ホテル両国直結10階 Room101～103）

開催主体：公益財団法人廃棄物・3R研究財団

参加者：会場参加53名 オンライン参加69名 計122名

(6) とやま環境フェア2022 WEB出展

富山環境フェアは、富山県をはじめ様々な環境関係団体が環境保全や3Rの推進についての展示なわかりやすくアピールしている。特に、食品廃棄物・フードロスの取組は富山県が全国をけん引しており、大きな成果を上げている。

当フォーラムでも毎年このフェアを応援しており、これからも共に環境保全を取り組んでいくために本年度も出展を行った。

開催日時：ウェブ会場：令和4年10月7日（金）～令和5年1月9日（月・祝）

リアル会場：令和4年10月9日（日）、10月10日（月・祝） 9:30～15:30

開催拠点：WEB

開催主体：とやま環境フェア開催委員会（富山県、富山市、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団）

(7) スチール缶リサイクル協会との連携

①三浦海岸清掃活動

2022年度第1回目の「散乱防止・美化キャンペーン」として三浦海岸で海岸清掃を行った。昨年度は開催を見送ったため、約1年ぶりの開催となった。

開催日時：2022年4月28日（木）

開催拠点：神奈川県三浦市三浦海岸

②愛媛県西条市高須海岸清掃活動

地元の住民や企業、関係団体など約400名と一緒に海岸の清掃活動を行った。清掃活動終了後は、市内のショッピングセンター「フジグラン西条」に移動し、場所をお借りしてポイ捨て防止、環境美化推進の啓発活動を実施した。

開催日時：2022年7月3日（日）

開催拠点：愛媛県西条市高須海岸

③三重県津市リバーパーク真美清掃活動

地元団体主催の清掃活動に、3R活動推進フォーラムはスチール缶リサイクル協会とともに参加した。清掃活動終了後は、参加者約200名にポイ捨て防止、環境美化推進の啓発活動を実施した。

開催日時：2022年11月19日（土）

開催拠点：三重県津市白山町真美

(8) 資源リサイクル促進センターとの連携

①小学生のためのリサイクル学習ホームページ3Rポスターコンクール開催の掲載にご協力をいただいた。

(<https://cjc.or.jp/j-school/>)

- ②中学生・高校生・市民のための環境リサイクル学習ホームページ「プラスチック製品の原料は？」日本有機資源協会マンガの掲載にご協力をいただいた。

(<https://www.cjc.or.jp/school/a/a-4-2.html#sec02-2>)

3 実務講座・相談事業

(1) 自治体・事業者との勉強会、研修

市町村に資源循環に関する情報提供、意見交換を通じて、自治体相互の交流を図り、広域事業等の新たな展開に役立てると共に、資源循環研究の一層の推進を図ることを目的に「プラスチック資源循環法研修会」を開催した。

「プラスチック資源循環の法制度を解説する」と題し、一括回収での様々な個別の問題を束ねて、多面的・総合的に資源循環問題の理解と解決に向けて法制度を理解するため、自治体との意見交換会を実施した。

①青森県・青森市等の地元関係者との意見交換会

開催日時：2022年8月24日（水）施設見学 13:00～15:00 意見交換 15:40～17:20

開催拠点：株式会社青南商事 ECOプラザ青森/青森県観光物産会館アスパム9F「南部」

開催主体：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム、青森県公益財団法人廃棄物・3R研究財団

参加者：施設見学会 12名 意見交換会 10名

②市町村 プラスチック資源循環 研修会（奈良県）

開催日時：2022年11月11日（金）13:00～15:45

開催拠点：奈良県経済倶楽部4階会議室/オンライン（WebEx）

開催主体：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム、奈良県、公益財団法人廃棄物・3R研究財団

参加者：26名（現地参加者13名）

③市町村 プラスチック資源循環 研修会（鹿児島県）

開催日時：2023年2月3日（金）13:00～15:15

開催拠点：ライカ南国会議室/オンライン（WebEx）

開催主体：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム、鹿児島県公益財団法人廃棄物・3R研究財団

参加者：41名（現地参加6名）

(2) 講師派遣

①一般社団法人えひめ産業資源循環協会主催

「3Rシステム事業化促進支援事業成果発表会」

開催日時：2022年11月8日（月）13:30～16:00

開催拠点：リジェール松山（JA愛媛）8階クリスタルホール（松山市南堀端町2-3）

開催主体：一般社団法人えひめ産業資源循環協会

基調講演：「循環型社会の形成を目指して ～プラスチック新法の意義と産廃業者の役割～」

3R活動推進フォーラム事務局長

②公益社団法人神奈川県産業資源循環協会主催

「令和4年度横浜地区セミナー」

開催日時：2022年12月5日（月）13:30～16:30

開催拠点：かながわ労働プラザ4階5、6、7会議室

開催主体：公益社団法人神奈川県産業資源循環協会

研修講話：地球温暖化防止対策と循環型社会の形成に向けて《産業廃棄物処理業者の担う役割》
3R活動推進フォーラム事務局長

4 広報普及事業

（１）HPやメルマガを通じた普及啓発活動

①3R活動フォーラム「3Rとは」ページの改修

関連情報のリンク先の確認と整理を行った。またカテゴリーを「3R・資源循環」「プラスチック資源循環、海洋プラスチックごみ」「食品ロス」「衣服・ファッション」「蓄電池・バッテリー」に増やした。

②ホーム画面のバナーの更新を積極的に実施

参加者を募集するイベントなど、視覚で惹きつけるような工夫の一つとして行った。

③HPアクセス数（PV数）の調査

調査の結果、近年はWEBへのアクセスが減少傾向のため、来訪を増やす仕掛けの検討として、さらなる他団体との連携やSNSを通じた広報も検討する。

④3R・廃棄物NEWS配信（メルマガ）

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月2～3回配信した。

（配信登録者約6,600件（2023年3月時点））

配信した直後、イベントの申込数が増加傾向となるので、今後も積極的に配信していく。

⑤3R推進月間用ポスター（令和3年度版、4年度版）を通じた3R啓発

環境省と実施している令和3年度と令和4年度の3R促進ポスターコンクールの入賞作品を使った3R推進月間用ポスターデータを作成し、利用できるようWEB上で呼びかけを行った。

⑥令和4年度3R推進全国大会で展示した16作品のパネルの無償貸し出しをHP上で開始 （2022年12月23日～より開始）

（２）会員向けサービス

①事務局通信の配信

事業の企画や業務執行の状況等会員に随時報告するための事務局通信を年4回配信した。

3R活動推進フォーラムの活動報告だけでなく、会員情報等も掲載するように内容を改めた。

②動画配信の開始

当フォーラムの企画・運営委員会での梶原成元副会長の講話、3R推進全国大会での細田衛士会長の基調講演を会員向けサイトからYouTube動画で配信を開始した。

(3) 3R促進ポスターコンクール展示会（令和4年度入賞作品）を通じた3R推進普及活動

以下の場所で最優秀作品、優秀作品全16点の展示を行った。

①東京ウイメンズプラザ（第16回全国3R推進全国大会会場内）

開催日時：2022年10月27日（木）

来訪者：約50名

②地球環境パートナーシッププラザ（国連大学1階）

開催日時：2022年10月28日（金）～11月16日（水）

③横浜市役所（YOKOHAMA RePLASTIC フォーラム会場内）

開催日時：2022年11月22日（火）

来訪者：約180名

(4) 後援、協賛、協力等

①建設副産物リサイクル広報推進会

- ・令和4年度建築副産物リサイクル広報用ポスター

掲出期間：2022年10月中心

掲出場所：公共交通機関の駅舎、公共機関、建設現場等

- ・2022建設リサイクル技術発表会・技術展示会

開催日時：2022年11月9日～10日

開催拠点：インデックス大阪6号館（大阪市住之江区南港北1-5-102）

②3R推進団体連絡会

- ・第17回容器包装3R推進フォーラム

開催日時：2023年1月23日（月）

開催拠点：KFCホール（墨田区横綱1-6-1）

③スチール缶リサイクル協会

- ・第16回（2022年）小・中学校における環境教育推進支援事業

募集期間：2022年6月1日～10月31日

④令和3年度不法投棄の監視・啓発活動等の取組実績の報告

提出先 環境相環境再生・資源循環局不法投棄現状回復事業対策室

提出内容 3R活動推進フォーラム令和3年度不法投棄の監視・啓発活動等の取組実績

掲載内容 2023年1月23日環境省報道発表

「産業廃棄物の不法投棄等の状況（令和3年度）」

https://www.env.go.jp/press/press_01043.html

「産業廃棄物の不法投棄等の監視体制の状況について（令和4年度）」

https://www.env.go.jp/recycle/ill_dum/kanshi_kyoka.html

⑤プラスチック容器包装リサイクル推進協議会主体事業への参画

東京都令和3年度 革新的技術・ビジネスモデル推進プロジェクト

「分別収集したプラスチック資源の機械選別・リサイクルに関する実証検討」

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/single_use_plastics/circular_innovation.files/SortingCenter_report.pdf

(5) Rマーク表示の啓発普及

3 R活動推進フォーラムでは、前身のごみ減量化推進国民会議が平成7年6月に定めた再生紙普及のためのRマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法等と併せて広報に努めた。

①ホームページでの普及啓発

Rマークのロゴをダウンロードできるようにするとともに、使用にあたっての留意事項等を掲載。

②問い合わせへの対応

Rマークについて、掲載方法や掲載物に関する電話などでの問い合わせ、教材への掲載方法についての問い合わせなどに対応した。3 R活動推進フォーラム全体の問合せの3分の1を占めていることから、関心が高いことがわかった。

《Rマーク表示例》

平成20年1月に環境省から公表された「環境表示ガイドライン」では、消費者を混乱させないため、Rマークの近辺やウェブサイトなどに、下記表示例のように利用方法について説明文を加えて表示することが望ましいとされている。



この製品は、古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。このマークは、3 R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

Ⅱ 組織運営

1 理事会・総会等

(1) 理事会

第17回理事会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止をする観点から、前年度と同様、書面による決議を行い、次の議案について議決いただいた。

①報告事項 職務の執行状況に関する報告

②審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告（案）及び収支決算（案）

第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）

第3号議案 理事及び監事の選任（案）

第4号議案 顧問の承認（案）

第5号議案 会長、副会長、専任理事の選任（案）

第6号議案 第17回総会を書面により開催する提案（案）

(2) 総会

第17回総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止をする観点から、前年度と同様、書面による決議を行い、次の議案について議決いただいた。

①報告事項 職務の執行状況に関する報告

②審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告（案）及び収支決算（案）

第2号議案 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）

第3号議案 理事及び監事の選任（案）

第4号議案 会長、副会長、専任理事の選任（案）

(3) 企画・運営委員会

①第1回開催概要

令和4年度企画・運営委員会（第1回）をWebexによるオンライン形式にて開催し、3R活動推進フォーラムの役割の強化・拡充について意見交換を行った。

開催日時： 令和4年7月29日（金）10：00～12：00

開催場所： オンライン開催（Webex）

議 事：

1 令和3年度企画・運営委員会議事録確認

2 3R・循環経済をめぐる最新の動き―循環経済工程表（案）ほか

3 3R活動推進フォーラムの役割の強化・拡充について

4 今後の企画・運営委員会の開催予定

5 その他

②第2回開催概要

令和4年度企画・運営委員会（第2回）をWebexによるオンライン形式にて開催し、当年度の事業報告と次年度の事業計画を報告した。また、2月に会員向けのアンケートを実施し、今

後のフォーラムの活動についての意向調査の結果を報告し、これからの活動の方向性について意見交換会を行った。

開催日時： 令和5年3月2日（木）10：00～11：30

開催場所： オンライン開催（Webex）

議 事：

1. 令和4年度事業報告（案）について
2. 今後の事業の進め方（案）について
3. 令和5年度事業計画（案）について
4. その他

Ⅲ 会員の強化・拡充

1 取組

会員の強化・拡充については、政令指定都市の未入会団体等に入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、機会があるごとに加入いただけていない自治体へ電話連絡などをして入会をお願いした。

2 入会状況

会員の入会状況については、今年度、川崎市、大井町（神奈川県）が新たに入会し、現在、77自治体会員（47都道府県、9政令指定都市、10特別区、11中核市・特例市・一般市）と66民間団体で143団体である。

会員（令和５年３月末日時点） 自治体会員 77 民間団体会員 66 計 143

自治体会員	
▶ 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課	▶ 青森県
▶ 岩手県	▶ 宮城県環境生活部循環型社会推進課
▶ 秋田県生活環境部環境整備課	▶ 山形県
▶ 福島県生活環境部一般廃棄物課	▶ 茨城県生活環境部廃棄物対策課
▶ 栃木県	▶ 群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル課
▶ 埼玉県	▶ 千葉県
▶ 東京都環境局	▶ かながわ３Ｒ推進会議(神奈川県)
▶ 新潟県	▶ 富山県
▶ 石川県環境部廃棄物対策課	▶ 福井県安全環境部循環社会推進課
▶ 山梨県	▶ 長野県環境部資源循環推進課
▶ 岐阜県	▶ 静岡県
▶ ごみゼロ社会推進あいち県民会義(愛知県)	▶ 三重県
▶ 滋賀県	▶ 京都府文化環境部循環型社会推進課
▶ 大阪府環境農林水産部循環型社会推進室資源循環課	▶ 兵庫県
▶ 奈良県廃棄物対策課	▶ 和歌山県環境生活部循環型社会推進課
▶ 鳥取県	▶ 島根県
▶ 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議	▶ 広島県環境県民局循環型社会課
▶ 山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課	▶ 徳島県
▶ 香川県	▶ 愛媛県
▶ 高知県林業振興・環境部環境対策課	▶ 福岡県環境部循環型社会推進課
▶ 佐賀県くらし環境本部循環型社会推進課	▶ 長崎県
▶ 熊本県環境生活部廃棄物対策課	▶ 大分県
▶ 宮崎県環境森林部循環社会推進課	▶ 鹿児島県
▶ 沖縄県	▶ さいたま市環境局資源循環推進部資源循環政策課
▶ 横浜市	▶ 川崎市
▶ 相模原市	▶ 新潟市環境部循環社会推進課
▶ 大阪市環境局事業部家庭ごみ減量課	▶ 神戸市環境局資源循環部減量リサイクル推進課
▶ 北九州市環境局循環社会推進部循環社会推進課	▶ 熊本市環境局資源循環部ごみ減量推進課
▶ 新宿区環境清掃部ごみ減量リサイクル課	▶ 文京区資源環境部リサイクル清掃課
▶ 墨田区	▶ 目黒区環境清掃部清掃リサイクル課
▶ 渋谷区環境政策部清掃リサイクル課	▶ 豊島区環境清掃部ごみ減量推進課
▶ 荒川区	▶ 練馬区
▶ 足立区	▶ 葛飾区環境部リサイクル清掃課
▶ 岩見沢市	▶ 川口市
▶ 船橋市資源循環課	▶ 昭島市環境部ごみ対策課
▶ 東大和市	▶ 大井町
▶ 松本市	▶ 豊田市ごみ減量推進課
▶ 東海市清掃センター	▶ 佐賀市環境部循環型社会推進課
▶ 指宿市市民生活部環境政策課	

民間団体会員（50音順）	
㊦ (公財)あしたの日本を創る協会	㊦ アルミ缶リサイクル協会
㊦ 大阪湾広域臨海環境整備センター	㊦ (一財)家電製品協会
㊦ 紙製容器包装リサイクル推進協議会	㊦ ガラスびん 3 R 促進協議会
㊦ (一社)環境衛生施設維持管理業協会	㊦ (NPO)環境技術支援ネットワーク
㊦ (一財)環境事業協会	㊦ (公社)環境生活文化機構
㊦ (NPO)環境文明21	㊦ (一社)京都府産業廃棄物 3 R 支援センター
㊦ (NPO)グリーンコンシューマー東京ネット	㊦ 建設廃棄物協同組合
㊦ 建設副産物リサイクル広報推進会議	㊦ 国立研究開発法人国立環境研究所
㊦ ごみ減量ネットワーク	㊦ (NPO)最終処分場技術システム研究協会(LSA)
㊦ (公財)産業廃棄物処理事業振興財団	㊦ (一社)持続可能社会推進コンサルタント協会
㊦ (NPO)持続可能な社会をつくる元気ネット	㊦ (一財)食品産業センター
㊦ (公社)食品容器環境美化協会	㊦ スチール缶リサイクル協会
㊦ 石油連盟	㊦ 全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
㊦ 全国環境整備事業協同組合連合会	㊦ 全国牛乳容器環境協議会
㊦ (公社)全国産業資源循環連合会	㊦ (一社)全国浄化槽団体連合会
㊦ 全国生活学校連絡協議会	㊦ (一社)全国清掃事業連合会
㊦ (一社)全国清涼飲料連合会	㊦ 全国地域婦人団体連絡協議会
㊦ (公社)全国都市清掃会議	㊦ (公財)全国老人クラブ連合会
㊦ 電気事業連合会	㊦ 中間貯蔵・環境安全事業(株)
㊦ (一社)日本環境衛生施設工業会	㊦ (一財)日本環境衛生センター
㊦ (公財)日本環境協会	㊦ (公財)日本環境整備教育センター
㊦ (一社)日本環境保全協会	㊦ 日本化粧品工業連合会
㊦ JMIA日本鋳業協会	㊦ 日本再生資源事業協同組合連合会
㊦ (公財)日本産業廃棄物処理振興センター	㊦ (一社)日本自動車工業会
㊦ (一財)日本消費者協会	㊦ (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
㊦ 日本生活協同組合連合会	㊦ (一社)日本即席食品工業協会
㊦ (一社)日本鉄鋼連盟	㊦ (一社)日本パン工業会
㊦ (公社)日本PTA全国協議会	㊦ (一社)日本百貨店協会
㊦ (NPO)日本ファイバーリサイクル推進協会	㊦ (一社)日本有機資源協会
㊦ (一社)廃棄物資源循環学会	㊦ (公財)廃棄物・3 R 研究財団
㊦ (一社)パソコン 3 R 推進協会	㊦ びん再使用ネットワーク
㊦ (一社)プラスチック循環利用協会	㊦ プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
㊦ PETボトルリサイクル推進協議会	㊦ (一財)水と緑の惑星保全機構